

SEA TRIAL

# GREEN JEWEL

*GREENLINE 45 FLY*

スロベニア生まれの「GREENLINE YACHTS(グリーンライン)」、そのミッドレンジである「GREENLINE 45 FLY」は、このクラスとしては贅沢すぎるラグジュアリーな居住空間と、驚くべき電力供給能力とを併せ持つエコクルーザーだ。

エレガントなフォルムとスタイリング、非常に良く考えられ作り込まれたデッキレイアウトなど、最新鋭のヨーロッパクルーザーの魅力にあふれている。

2019年1月にデビュー、同年9月に開催されたカンヌヨットフェスティバルで海上展示。カンヌ沖でシートライアルを行った。

text: Atsushi Nomura photo: GREENLINE YACHTS  
special thanks: GREENLINE YACHTS [www.greenlinehybrid.si](http://www.greenlinehybrid.si)  
OKAZAKI YACHTS <http://okazaki.yachts.co.jp>



## 多様なパワートレイン+ソーラーパネルによる豊富な電源供給 「世界で最も持続可能な国」に生まれたエレガントなエコクルーザー

エレガントなスタイルが目を引く「GREENLINE 45 FLY (グリーンライン 45 フライ)」は、2019年1月にデュッセルドルフで発表され、同年9月のカンスヨットフェスティバルで海上展示されたエコクルーザーだ。ヨーロッパスタンダードと言えそうなレイアウトと贅沢なアコモデーションを備えたフライブリッジモデルで、環境面への配慮とこだわりを強く感じさせる一艇である。スロベニア生まれの「GREENLINE」は、アウトボード仕様の新機軸「NEO」シリーズも登場、日本でも年々知名度が上がってきているブランドだ。

そもそもスロベニア自体、日本ではあまり馴染みのない国として紹介されることが多い。東欧の共和国で、かつては旧ユーゴスラビアを構成、1991

年に独立した。北はオーストリア、西はイタリア、南はクロアチア、東はハンガリーと国境を接しており、地図を見ると内陸国かと思われがちだが、アドリア海の最奥、トリエステ湾に面した一画だけが海に接している。河川や湖沼が多く、日本人が想像しているよりも遥かにボートレジャーは盛んだ。

プレジャーボート製造はスロベニアの重要な産業の一つであり、地中海、ヨーロッパエリアへの輸出も積極的に行われている。ウィンタースポーツも盛んで、著名なスキースノーボードブランドのELANは、セーリングボートELANの製造メーカーでもある。

スロベニアを語る上でもう一つ注目されるのは環境保全の面。森林地帯を多く抱えるスロベニアはアルプスと地中海の間に位置する「GREEN

JEWEL」とも呼ばれ、「世界で最も持続可能な国」としても知られる環境保全先進国である。「GREENLINE」のファクトリーはオーストリア国境に近い内陸、アルプスの麓のラドブリツァ近郊にある。辺りにはヨーロッパの長閑な田園風景が広がっており、日本で例えるならば信州の高原地帯にボート工場があるといった雰囲気だ。

そんなスロベニアにある「GREENLINE」の現オーナーのロシア人 Vladimir Zinchenko も、自然環境を保全しながらボート製造を行うという「持続可能な産業」を強く推進している。「GREENLINE」はまさしく「持続可能な」プレジャーボート製造を模索してきたボートビルダーで、早くからハイブリッドと電動のパワートレインを採用してきた。現行のすべての「GREENLINE」のプレジャーボート(33～48フィートのレンジに6モデル)には、内燃機関だけでなく、ハイブリッドや電動モーターなどのラインナップが揃う。

今回紹介する「GREENLINE 45 FLY」も同様でパワートレインは実に多彩である。VOLVO PENTA または YANMAR の 220 馬力、320 馬力、370 馬力、440 馬力ディーゼルインボード 2 基掛け仕様、VOLVO PENTA IPS500 または IPS600 の 2 基掛け仕様のほか、ハイブリッド推進、電動モーター推進 (14kW×2 基) も用意されている。インボード 440 馬力および IPS600 でのトップスピードは 30kt に達する。一方、電動モーターでのトップスピードは 6.5kt、クルージングスピードは 5kt で 30 マイルの航行が可能だ。

カンスショーに供されたモデルには、YANMAR 8LV-320 馬力のコモンレールディーゼルインボード+V ドライブを 2 基搭載。シートライアル時の海面は少しうねりが入る程度で穏やか。ステアリングホイールを握り、スロットルを入れていく。ほとんどパワアップせずにプレーニングするもののトップスピードは 22kt まで。とは言えメーカー発表の 20kt 以上は出ている。

440 馬力または IPS600 という選択肢もあるが、「GREENLINE 45 FLY」





は基本的にエコクルーザー、スピードを求めるのは筋違いだろう。もっとも最大出力搭載時のトップスピードは30ktというから艇体自体の速度性能は確保されている。実際に走らせてみると旋回性能も良好で旋回時にはほぼ傾かない。とても素直な操舵性で安定した走行フィールなのが印象的だ。

\*

「GREENLINE 45 FLY」はヨーロピアン・フライブリッジクルーザーらしいエレガントなスタイル。全幅いっぱい確保されたフライブリッジがサイドデッキを覆っているのが特徴的だ。フライブリッジの前面には巨大なソーラーパネル(各600W、12V)を2面マウント。FBそのものはコンパクトだが、アッパーステーションの左舷には大型サンベッド、ウェットバー & グリル、後部にはU字型ソファとダイニングテーブルが用意されている。なおオプションで固定式のフライブリッジT-Topも用意されており、ソーラーパネル

容量を3倍にすることも可能だ。

アフトデッキもサイドデッキと同様にフライブリッジに覆われており、暑い日差しや雨を避けられる。トランサム中央にソファ、その両舷にスイミングプラットフォームへのアクセスドアがある。

素晴らしいのはアフトデッキとメインサロンとの一体感。メインサロンの右舷後部にL字型のカウンターギャレーが配置されており、サロンドアを全開すれば広々としたシームレスな空間となる。またカウンタートップはアフトデッキ側に拡張できる。オンデッキでのパーティーなどにはぴったりのシチュエーションだ。

メインサロンはヘッドクリアランスも十分確保され、サイドウィンドウの面積が広いので、とても明るい。中央左舷にU字型ソファとダイニングテーブル、対面の右舷にもソファを配置。右舷前寄りにヘルムステーションが来る。ヘル



フライブリッジ前面にはエコクルーザーの象徴である2枚の大型ソーラーパネル。陸電やジェネレーターに頼らずにさまざまな家電製品を稼働させられる。フォアデッキには大型サンベッドを配置。



比較的コンパクトなフライブリッジだが、設備は十分。左舷にアッパーステーション、その右舷に大型サンベッド、後部にウェットバー&グリル、最後尾にU字型ソファとテーブルが来る。アフトデッキにはソファとテーブル、さらに両サイドからスイミングプラットフォームへアクセス可能。スイミングプラットフォームは油圧で上下可能だ。





ムステーションの右脇にはサイドドアがあり、キャプテンはすぐに右舷サイドデッキにアクセスできる。右舷サイドデッキの舷側にもドアがあり、右舷接岸が主流となっているヨーロッパボートならではの装備と言える。実際に乗ってみるとキャプテンの動線が良く考えられており非常に便利だ。またドライバーズシートからはほぼ全周の視界が確保されている。フォアデッキの中央には大型のサンベッドを配置、ピミニトップもセット可能で、真夏にはとても快適なスペースとなりそうだ。

\*

「GREENLINE 45 FLY」は45フィートクラスながら2つまたは3つのキャビンを用意する出色のレイアウトを誇る。メインサロンの真下に位置するミ

ジップキャビンはフルビームの広大なマスターステートルーム。アイランドタイプのキングサイズベッドを配し、両サイドにカウンター、左舷前方には専用シャワールームとヘッドが配置されている。また舷側には大型ウィンドウがあるため、室内から壮大な景観を楽しめる。

アイランドタイプのクイーンサイズベッドが配置されたフォアキャビンはVIP用ゲストルーム。前述のフォアデッキのサンベッドがかなり高い位置にあるため、真下のフォアキャビンのヘッドクリアランスはしっかりと確保されている。面白いのはフォアキャビン上部側面と前面のウィンドウのアイデア。ここからはフォアデッキの足許が見えるが、両舷側のキャップレールがえぐられたデザインとなっており、フォアキャビンからも素晴らしい景



ロアフロアは45フィートクラスとしてはかなりぜいたくなレイアウト。ミジップにはフルビームのマスターステートルーム、フォアにはVIPゲストルーム、どちらも専用シャワールームとヘッド、さらにワードローブまで用意されている。ワードローブをゲストルームに変更した3キャビン仕様もある。

観を楽しめる。いずれも採光性に優れており相当に明るい。さらにどちらの部屋にも大型ワードローブが備わっている。ロアフロアのレイアウトは3パターンあり、標準では上記の2部屋+ワードローブ仕様。その他、2つのワードローブのスペースをゲストルームに変更した3部屋仕様が2パターンあり、ダブルベッド仕様または2段ベッド仕様が用意されている。

\*

さらに、「GREENLINE 45 FLY」の大きな魅力は豊かな電源供給にある。ソーラーパネル&大容量バッテリーによって膨大な電力の供給と維持が可能であり、家庭用サイズの大型冷凍冷蔵庫、電子レンジ、IHコンロ、家電製品などが陸電やジェネレーターに頼らず使用できる。もちろんマリナーステイなら陸電に頼っても良いと思うが、寄港地によっては陸電のないケースもありうる。

寄港地の静かな夜にジェネレーターが回っているかどうか？ これまでは

当たり前のジェネレーター使用だが、その振動や騒音を考えれば、素晴らしいメリットと言えるだろう。おそらくプレジャーボートの上にいる、というよりも自宅や別荘にいる気分になれるのではないだろうか？ まさにGREEN JEWEL、緑の宝石。「GREENLINE 45 FLY」は、ボートと環境の持続可能性を考えさせる、魅力たっぷりのスマートなエコクルーザーである。P.B.

### GREENLINE 45 Fly

全長 15.57 m  
 全幅 4.57 m  
 喫水 1.10 m  
 重量 13.5 ton  
 エンジン 2x YANMAR 8LV-320  
 最高出力 2x 320 HP  
 電気モーター 2x 14 kW  
 燃料タンク 1,500 L  
 清水タンク 660 L  
 スピード Max 30 kt  
 問い合わせ先 オカザキヨット  
 TEL: 西宮 0798-32-0202、横浜 045-770-0502  
<http://okazaki.yachts.co.jp>



YouTube



メインサロンの右舷前方にヘルムステーション、中央にはU字型ラウンジソファとテーブル、対面のソファが並び、後部にはL字型のカウンターギャレーが配置される。サロンドアを全開にするとカウンターを境にメインサロンとアフトデッキがシームレスな一体の空間となる。フライブリッジはアフトデッキ全体とサイドデッキ後部を覆っており、強い日差しや雨を防いでくれる。